

まつ毛ダニ

北里大学北里研究所病院眼科部長

川北 哲也

(聞き手 池田志孝)

まつ毛ダニと目の症状についてご教示ください。

<東京都勤務医>

池田 目にダニがすんでいるというのはすごく怖いのですが、もともとヒトにすんでいるのでしょうか。

川北 もともとニキビダニというものとほぼ同じなのです。目にはマイボーム腺という脂の分泌腺がありまして、そこと、それからまつ毛の根部の脂腺のところに種類の違うデモデックスというダニが共存しています。

池田 眼瞼のところで2種類、最低いるのですね。

川北 はい。

池田 ヒトに特化してすんでいるのですか。

川北 イヌとかネコにもそのダニはいますが、また違う種類のダニがいます。ペットでいる場合は濃密な接触とか、皮膚と動物の毛などをすり合わせることで、イヌやネコ、ペットからヒトにうつることもあります。

池田 イヌのダニも眼瞼のところにもすんでいるのでしょうか。

川北 いえ、眼瞼のところというよりは、全体的に皮膚との接触でうつることが多いと思います。

池田 毛穴のところですね。ヒトにも特化しているのが眼瞼のところの2種類ですね。

川北 はい。

池田 どうやって生きているのですか。脂を食べているのでしょうか。

川北 脂とか皮膚のかすを食べて生きていますので、たまに皮膚に出てきたりすることもあるようです。

池田 恐ろしいですね。よく最近ネットで写真も出ているのですが、ある意味、常在しているのですね。

川北 常在しています。

池田 例えば、目の症状のあるなしに関係なく調べてみると、どのくらい

の方が陽性になるのでしょうか。

川北 私はマイアミに留学していたのですが、マイアミのような温暖なところや、言い方が悪いですが、清潔な環境ではないところだと、30%とか50%で、正常人のまつ毛を抜いても生息しているといわれています。私が十数年前に調べた正常人のデータによりますと、日本人は5~10%ぐらい、正常人でもまつ毛の根部にデモデックスがいるという結果が出ました。

池田 環境と衛生状態によるのですね。

川北 はい。

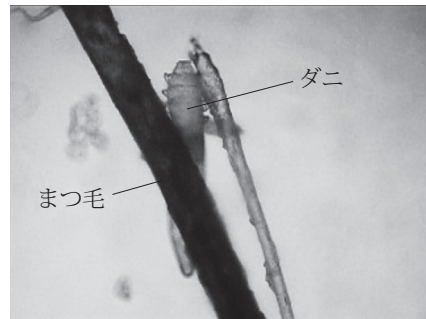
池田 検査するとき是一部、まつ毛を抜かなければいけないのですか。

川北 そうです。まつ毛を抜くのですが、まつ毛の根部に落屑様の物質、白いふけのようなものがついているまつ毛を選んで抜くと、デモデックスがいる可能性が高いとされています。

池田 正常でもついていることを考えると、例えばデモデックスの数が増えたり、あるいは宿主のほうで反応すると、どのような症状になるのでしょうか。

川北 デモデックスがいるイコール何か目に症状が出るということではないのですが、数が増えることで病原性を持つと今のところは考えられています。数が増えれば炎症などを起こすことで、例えば前部眼瞼炎といわれる難治性の、抗生剤やステロイドなど

写真



を使っても治らないような眼瞼炎を起こしたり、あるいは慢性の結膜炎、なかなか眼科に行っても治らない、治療しても治療に抵抗性の結膜炎が起こったり、あるいは角膜に傷がついてきたり、いろいろな症状が起こってくるといわれています。最近ではものもらいの原因としても考えられているようです。

池田 人によってはかなり症状が出てくるのですね。増えやすい人には何か背景があるのでしょうか。

川北 増えやすい人としては、例えば手術後に医師に「目の回りはあまりこすったり、さわったりしないでください」と言われて、それをずっと守っていらっしゃる患者さんや、目の回りをきれいにしていないためにまつ毛が不衛生になってダニが増えてしまっている、そういう方もいます。

池田 よく手術後に眼帯をして、その後もあまりさわらないように、ということがけっこうありますよね。そう

すると、怖いから、全く洗ひもしない。何も洗ひない。

川北 1週間程度でしたらそれでもないと思うのですが、例えば数カ月とか全く洗わないと、皮脂を食べるダニが増殖、繁殖することはあります。

池田 そういう環境なのですね。ちょっと前に戻ってしまうのですが、デモデックスが原因とはいええない部分もあると思うのです。これはデモデックスによる症状だという診断はどのようにされるのでしょうか。

川北 それがなかなか難しいのですが、完全にデモデックスが病因でこれが起こっているということはなかなか言えないのが現状です。なので、除外診断としてみていくという考え方で、抗生剤あるいはステロイドの点眼や軟膏になかなか反応しない、かつ、まつ毛の根部にふけ状の物質、落屑様の物質がかなりついていて、衛生上はあまりよくない状態で、まつ毛を抜くとデモデックスが多数いる。そういう状況が重なって初めてデモデックスによる前部眼瞼炎という診断ができると思います。

池田 常在生物としての側面もあるので、病歴と薬の反応性も含めて診断していくということですね。ほかの疾患も除外していく中で、そういう病名が残ってくると思います。

今度は治療になりますが、どのようにされるのでしょうか。

川北 治療として報告されているものとしては、やはりきれいにすることがまず第一で、まつ毛の周り、いわゆる眼瞼の縁、眼瞼縁を毎日のように清浄にしてもらおう。それでアイシャンプーなどを使ってきれいにしてもらおうことが一つです。なかなかそういうものだけでは治療ができない、あるいはデモデックスの数が減らない方に関しては、ティーツリーオイルを使ってまぶたの縁をスワイプしてもらおう。毎日スワイプしてもらおうことでデモデックスの数が減っていくという報告は幾つもあります。

池田 ティーツリーオイルの場合は、オイルですので、例えば綿棒などにしみ込ませて拭くというイメージがあるのですが、アイシャンプーというのは具体的にどのように扱うのですか。

川北 アイシャンプーは、幾つか製品があると思うのですが、液状のシャンプーのようなもので、目にはあまり刺激性がないものです。手をきれいに洗って指の腹で優しくまぶたの縁をこするようにして使います。

池田 まず石けんで手を洗って、指の腹にアイシャンプーをちょっとつけて、まつ毛の根元を少しこすっていく。

川北 アイメイクとかそういうものを落とすために、オイルクレンジングなど、されていると思うのですが、そういうようなイメージだと思います。

池田 確かに、女性はアイシャドー

とかマスカラなどをつけますね。うまく扱えないのは男性のほうでしょうか。それをやってデモデックスが減って、症状がよくなってくる。そうすると、眼瞼の処置はどのようなタイミングで、回数を減らしたりするのでしょうか。

川北 初めのうちは毎日のようにアイシャンプーで朝晩しっかり洗浄してもらって、デモデックスの数がかなり減ってきて、眼瞼とか目の状態もよくなってくれば、1日1回、あるいは週に数回ぐらいで様子を見ていただくことでよいかと思います。

池田 これは続けなければいけないものなのでしょうか。

川北 目の回りの脂の汚れは、なかなか男性は普通の洗顔では取れないことが多いので、週に何回か、もしくは毎朝、目の回りを優しく洗うことを習慣づけてもらったほうが本当はよいのかと考えています。

池田 例えば洗浄について、1日2回という話もありましたが、やり過ぎで不都合なことはあるのでしょうか。

川北 こするということです。優しく眼瞼をなでるぐらいでいいと思うのですが、ごしごしと強くこすることを続けるのはあまりよくない。逆に炎症を起こしてしまったり、眼瞼下垂などの原因になりうるので、優しくなでるようなかたちで洗浄していただくのがいいかと思います。

池田 寄生虫ということなので、内

服でイベルメクチンとか、ああいった寄生虫の薬を使うことはあるのでしょうか。

川北 たしかブラジルで、寄生虫の薬を使うような報告がありましたが、日本ではそういった抗寄生虫薬を使うような、それほどひどい症例には出会ったことがありません。

池田 日本では清潔にしておけば何とかなるということですね。

川北 そうですね。

池田 なかなか難しいところだと思います。それから、今、ちまたでまつ毛ダニの話がすごく出ているのですが、予防法について質問があるのです。予防法はあるのでしょうか。

川北 予防としても、やはり清浄にする、きれいにしておくことが一番です。例えば皮膚でいうニキビを予防するために洗顔できれいにしておくのと同じように、アイシャンプーを使って清潔な状態を保つということが一番だと思います。

池田 自分ですべてできる方はいいのですが、例えば寝たきりの方とか高齢者の場合はどうするのでしょうか。

川北 それはなかなか難しい問題ですが、たまに綿棒にアイシャンプーをつける、もしくは点眼液をつけてきれいにしてあげて、週に何回かしてあげたほうが本当はよいかと思いません。

池田 時々いらっしゃいますよね。

高齢者で寝たきりの方で、目のところにいろいろついていて、涙がついているのか、よくわからないような方が。

川北 それはけっこうな頻度でデモデックスが数多く寄生していると思います。

池田 アイシャンプーに関しては、綿棒などにつけて少しこする。その後、顔を水で洗うとか、そういうことは必要なのでしょうか。

川北 その後、水で洗うかたちです。

池田 ありがとうございました。